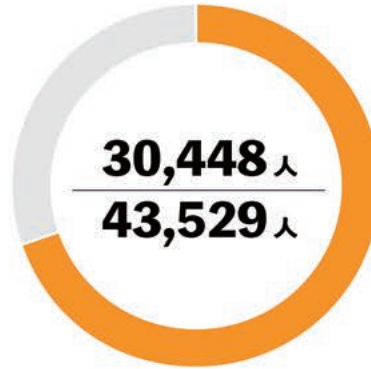


1回目
接種済
78.2%



2回目
接種済
69.9%

※分母は12歳以上の接種対象人数=接種券発送数(12歳は年度末までの発送見込数)

支えあいの輪(表紙写真)

ボランティア活動の合間のひと時。今回、新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアの募集は県内在住者に限られました。人手不足は深刻で、何度も足を運んでくださったボランティアの方も多かったとか。この方もその一人。帽子の上に幾重にも重なったボランティアワッペンが物語っています。取材をしていく中で、「ボランティアの方に元気をもらえた」という被災者の方の声も聞こえました。誰かが誰かのために。支えあってみんな笑顔です。

TAKEO

広報武雄 No.189 2021年10月号



CONTENTS

▶特集	支えあいの輪	…01
ニュース	たくさんのご支援をいただいています 『武雄市・サガン鳥栖スポーツ交流宣言』を締結しました	…08
特設	たけおキッズウィーク	…09
特設	窓口リニューアルしました	…11
カレンダー		…15
お知らせ	ごみの減量にご協力ください 社会生活基本調査を実施します	…17
おたんじょうおめでとう		…30

発行・編集 / 武雄市役所 企画部 広報課 ☎0954-23-9121
〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和12番地10
印刷 / 有限会社 四季の丘印刷



市長だより

「住むことは生きること」
8月の大雨災害から1か月半が経ちました。この間、被災者の皆さんから「このままここに住み続けるべきなのか」という声を数多く聞きました。
住み慣れたまちでこのまま暮らしたい。武雄が大好きだからできれば今後も住み続けたい。ただ、来年また豪雨が来たらと思うと、ここに安心して住み続けることが果たして可能なのかという。このこと、皆さんの一番の「不安」だということを日々痛感してきました。
住むことは、人間が生きる上で一番基本となることです。私は、安心して住むことを保障することが、復旧で最も重要なことと考えています。まずは、根本的な治水対策を1日でも早く進めることが必要です。また、現在、一定規模以上の被害には、補修費などに住宅再建の支援金が国から出るようになりました。加えて、本市では、おた上げや改修工事などに治水対策の補助金を、先日新たに創設しました。
住むことは生きること。住むを守ることは地域を守ること。皆さんがこのまちも住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、更なる対策も含め、全力で取り組んでまいります。
武雄市長 小松 政